

成分名	セッコウ
英 名	Gypsum
CAS No.	7778-18-9
収載公定書	日局
A TOXNET DATABASE への リンク	https://chem.nlm.nih.gov/chemidplus/rn/7778-18-9

投与経路	用途
経口投与	コーティング剤、賦形剤、

以下については該当文献なし

1. 単回投与毒性
2. 反復投与毒性
3. 遺伝毒性

4. 癌原性

ハムスター

6種類の人工繊維を雌のシリアンハムスターの気管支内に投与（1週1動物2.0mg，5週間，計10mg）し，投与2年後に組織学的に観察した。繊維は，ロックウール，ガラス繊維，チタンカリ繊維，硫酸カルシウム繊維（平均直径1.0ミクロン，平均長さ17.8ミクロン），塩基性硫酸マグネシウム繊維及びメタ硫酸繊維である。腫瘍は塩基性硫酸マグネシウム繊維（9/20），メタ硫酸繊維（6/20），硫酸カルシウム繊維（3/20），ガラス繊維（2/20）にみられ，他には見られなかった。腫瘍の原発巣は，胸腔のみならず腎，副腎，膀胱，子宮にもみられた。新生物に加え肺の線維化，肋膜肥厚，慢性炎症像が見られた。¹⁾ (Adachi et al., 1991)

以下については該当文献なし

5. 生殖発生毒性
6. 局所刺激性
7. その他の毒性
8. ヒトにおける知見

引用文献

1) Adachi S, Takemoto K, Kimura K. Tumorigenicity of fine man-made fibers after intratracheal administration to hamsters. Environ Res. 1991 Feb; 54(1): 52-73.